

VOL.23

こんにちは、(公社)ひょうご観光本部ツーリズムプロデューサーの古田菜穂子です。すでに驚くほどの猛暑に見舞われていますが、みなさま、お元気でしょうか？

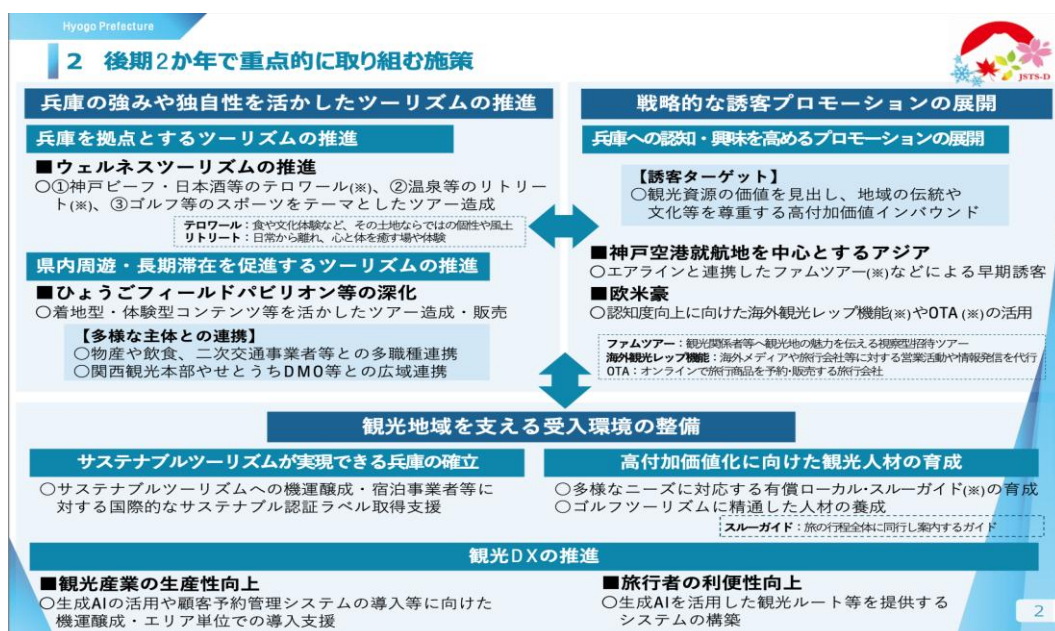
前回、兵庫県庁の観光施策について書きましたが、このメルマガを読んでいただいている方の中で、どれくらいの方が前回お伝えした「中間見直しによる後期重点取り組み概要」を読んでいただけたのでしょうか？

こういった施策は、ただの「目標」であって実際にその通りに動いているの？と思っていられしやる方も少なくないのではと思います。私もかつてはそうでしたが、でも、実際にこうして県庁のみなさんと一緒に（自分が岐阜県の観光局長を担っていた時代も含めて）仕事をはじめたことで、そのリアルな実態がわかってきました。

はい、スピード感やエネルギーの多少の差はあれ、職員のみなさんは計画の実行や目標の実現に向け、みなさまからの税金（国からの補助金であってももとは血税です）を活用（運用）して、日々、頑張っています。観光本部のメンバーもちろん、同じです。ですから、みなさまもぜひその実行、実現にむけて、まさに「自分ごと」として、常に関心を持って一緒に頑張りたいと思います。

一緒に頑張っていたいただいた方や企業さんこそが、必ず何らかの成果につながります。そのために必要な情報などは行政側からの連絡を待っているだけではなく、自分からコミットして取りに行くといった気持ちで向き合っていただければと思います。

特に、2の「後期2ヵ年で重点的に取り組む施策」はご覧になりましたか？まだ、ご覧になっていない方のために再度ここに、リマインドしておきますね。



表の上部、「兵庫の強みや独自性を活かしたウェルネスツーリズムの推進」のところには、具体的にどんなツアー造成を進めるか、が書かれています。そのために何をするかも示してあります。

実は通常、行政のこういった文書の中には、具体的に何をするのかなどのアクションプランが示されていないものが多いのですが（一般的に公務員は具体的なことを表明するのを避けがちな傾向があり）でも、兵庫県は違います！その部分をしっかり明示しています。

これは、この職務を遂行する職員の方にとっては、ある意味「職務への遂行責任を明示」することですから、実際はあまりしたくない方が少なくないです（成果主義の評価などにも関わりますし）。でも山北観光局長さんなどの強いリーダーシップのもとで、従来型のマインドをリセットし、本気、やる気の実策が示されています。

ちなみに今夏から、具体的なアクションとして始まるのが、表の下部に示されている「サステナブルツーリズムが実現できる兵庫の確立」のための「サステナブルな国際認証取得支援事業」と、「高付加価値化にむけた観光人材の育成」のための「（有償）スルーガイド育成事業」です。そのほか「テロワールコンテンツの商品化事業」も始まっています。

「え？それ何？」と思っている方、もしいらっしゃったら残念至極です。ぜひ、自ら、ひょうご観光本部の土井部長に連絡をして、問い合わせをしてください。「自分ごと」として、自分（自社）に、何ができるか？の視点で詳しい内容をぜひ、聞いてみていただきたいのです。

すでに、その一歩を踏み出している方、素晴らしいです。その心意気で、ぜひ、さまざまなことごとくにチャレンジし、国内外から選ばれる兵庫県の観光新産業化に、これからも力を貸していただければ幸いです！暑さに負けずに頑張りましょう！！